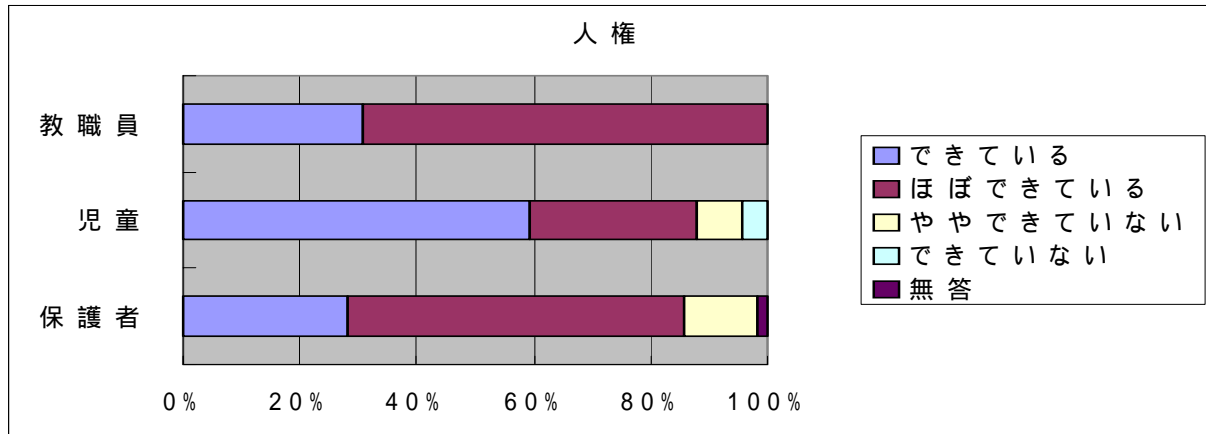


3.人権

「仲間はずれや弱いものいじめを見逃さず、時宜を得た指導ができたか。」(教職員)
 「先生は、あなたの言ったことや考えをよく聞いてくれますか。」(児童)
 「子どもに、活躍できる場や認められる場がある。」(保護者)

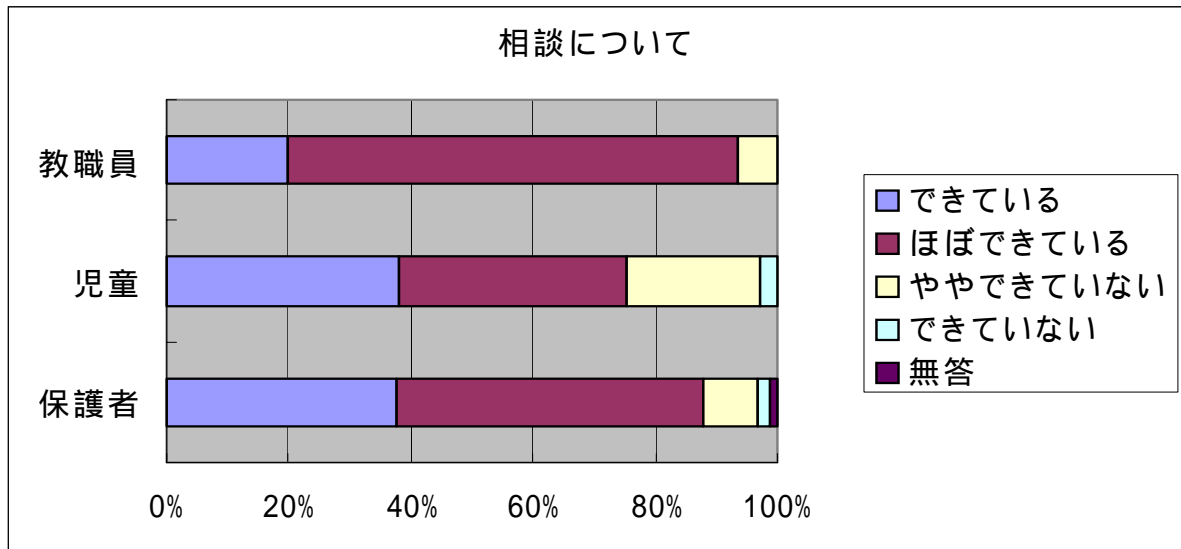


教職員は、仲間はずれやいじめといった表立った人権上の問題には、おおむね目配りできているものの、児童や保護者から見たときには、心を傷つけるちょっとした言葉の行き違いや何気ない行動にまで、気を配ってほしいという願

いがこの評価結果に出ているようにも思われます。大人の鋭い人権感覚が子どもたちにも影響を与えるので、日ごろから、子どもたちに対して、きめ細かな気配りをしていきたいと考えます。

4.相談について

「常に子どもの立場に立って、子どもの行動や心情を理解しようとしていたか。」(教職員)
 「先生とよくお話しますか。」(児童)
 「教職員に、子どものことについて気軽に相談できる。」(保護者)

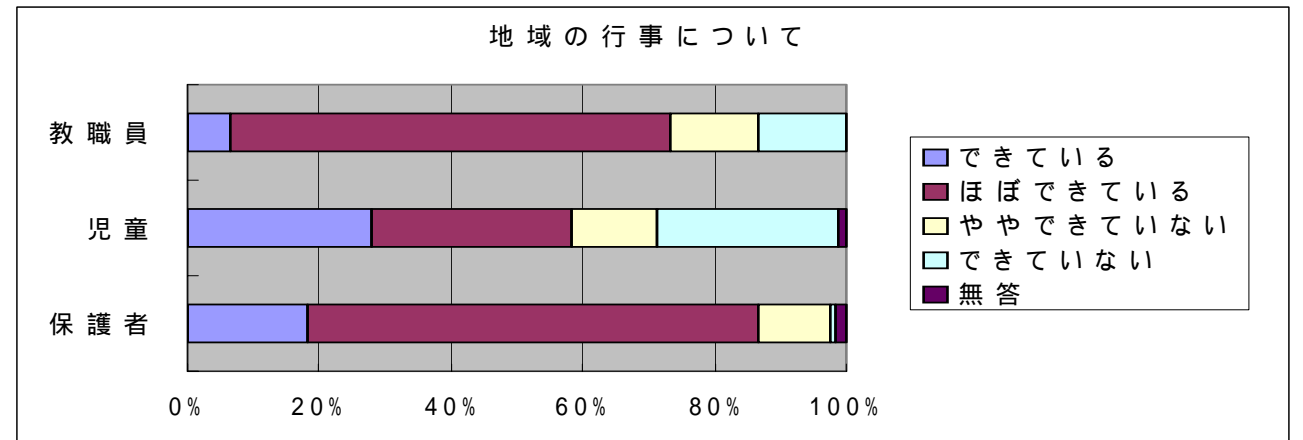


教職員は、折にふれて児童とおおむねコミュニケーションがとれていると考えていますが、児童は話す場が少ないと感じています。

大切なのは、話の中身で、子どもたちの切実な思いや願いをきちんと担任や保護者が受け止められているのか、考えていきます。

5.地域行事について

「地域行事に参加するよう努めているか。」(教職員)
 「PTAや地域の行事に参加していますか。」(児童)
 「さまざまな取組や行事を通して学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育にあたっている。」(保護者)



このアンケートを実施した時点では、今年度になり、学校での大きな地域行事がなかったので、児童の地域行事への参加率が下がっていますが、教職員の地域行事への参加をより積極的にすすめて、

地域の中での児童の様子を知るべきだと考えます。また、行事だけでなく日ごろからの見守り隊活動などにも、感謝するとともに、学校からの情報をよりこまめに発信していきます。

学校評議員の方々より

- * 学校・地域が連携を深めて、児童の健全育成のため、登下校時に声かけをしています。そして、子どもたちとのふれあい・対話を少しでも多く持つよう心がけています。
- * 見守り隊活動を行っていますが、下校時刻が時として遅くなることがあるので、きめ細かな連絡がほしいものです。
- * 子どもたちは、思いやりがあり、健康で元気な子が多いです。あいさつができる子やできない子などいろいろいますが、一人でも声をかけられれば登下校の見守りの励みになります。

学校評価のまとめ

保護者の方や子どもたちの願いや思いと教職員の意識が一致していることもありますが、学習面や人権に関する項目などでは、意識にズレが見られます。今後、子どもたちとの話し合いや懇談会などで相談しながら子どもたちの成長を見つめていきたいと考えます。学習面や生活面で、学校全体としての取組を推進していく必要があると考えます。(学びの時間や帯時間の効果的な活用・人権教育の取組など) 家庭学習の習慣化など家庭と学校と連携して進めていく取組もあるので、ご協力をお願いします。学校運営協議会の立ち上げも迫り、学校と地域・家庭が、より連携を深めていく時期が来ています。「地域の子どもは地域で育つ」という理念のもとで、学校からの情報